

令和3年7月26日（月）

文教委員会

金杉台中学校の統合に向けた検討状況報告について

管理部教育総務課

## 目 次

金杉台中学校に関するこれまでの経緯について・・・・・・・・・・ - 3 -

金杉台中学校の統合に向けた検討状況報告について・・・・・・・・・・ - 5 -

### 【参考資料】

第4回金杉台中学校・御滝中学校統合準備会 資料

令和3年度の統合準備会の検討事項について・・・・・・・・・・ - 9 -

統合方針に基づく統合までのスケジュール・・・・・・・・・・ - 10 -

### 【参考資料】

船橋市立金杉台中学校・御滝中学校

統合準備会たより第5号・・・・・・・・・・ - 11 -

### 【別冊】

令和3年度実施『進学先に関するアンケート』集計結果報告

## 金杉台中学校に関するこれまでの経緯について

### 1. 金杉台中学校の沿革

|          |   |
|----------|---|
| 昭和46年度   | <ul style="list-style-type: none"><li>御滝中学校の学区内に金杉台団地が造成されたことにより開校。</li><li>御滝中学校の学区内に金杉台中学校の学区があるという、市内の他の中学校にない特徴がある。</li></ul> |
| 昭和62年度   | <ul style="list-style-type: none"><li>生徒数がピークとなる。(13学級528人)</li></ul>   |
| 平成21年度   | <ul style="list-style-type: none"><li>初めて全学年1学級となる。(93人)</li></ul>  |
| 平成26年度以降 | <ul style="list-style-type: none"><li>1学年1学級が継続。</li></ul>  |

### 2. これまでの経緯

|        |   |
|--------|---|
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"><li>平成26年度から1学年1学級の状況が続き、生徒数の更なる減少が見込まれることから、今後のあり方を検討。</li><li>金杉台中学校の今後を考える会(金杉台中・小学校評議員、PTA、校長)で存続、統合等について意見交換を開始。平成29、30年度にかけて3回開催。</li></ul>   |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"><li>保護者説明会を1回、地域説明会を2回、それぞれ開催し、関係者の意見を聴取。教育委員会として、教育環境の充実のためには統合が望ましいと考えを表明。</li></ul>  |
| 令和元年度  | <ul style="list-style-type: none"><li>地域の自治会連合会との意見交換や2回の地域説明会を開催。</li><li>2回の保護者アンケートを実施。<ul style="list-style-type: none"><li>今後も全学年単学級の状況が続き、金杉台中学校の生徒数の増加はみられないこと。</li><li>通学区域の見直しを行っても金杉台中の生徒数の増加を図れないこと。</li><li>関係する小学生の保護者の68%が「統合したほうが良い」との回答。</li></ul></li><li>教育委員会会議臨時会(令和2年3月5日開催)において、御滝中学校に統合することとする「<u>船橋市立金杉台中学校の統合方針</u>」を議決。</li></ul> |
| 令和2年度  | <ul style="list-style-type: none"><li>統合方針に基づき「金杉台中学校・御滝中学校統合準備会」を設置し、統合を円滑に進めるため、諸課題へ対応。統合までの間の入学等対応策について整理し、保護者説明会を開催し説明。</li></ul>   |

### 3. 「金杉台中学校の統合方針」及び統合に向けた取組

#### 【統合に向けた方針 その1】

教育環境の向上と生徒一人一人へのきめ細かな対応に努める。

1. 金杉台中学校の武道室、体育館、運動場を活用する。
2. アンケートの実施や相談体制を整える。
3. 不登校生徒の支援の充実に向けた拠点候補地の一つとして、金杉台中学校の教室活用の可能性を検討する。

#### ※跡地活用の検討（市長部局と協議）

- ・一時避難場所としての機能は継続する。
- ・教育機関としての施設活用を図るほか、地域の活性化にもつながるような施設活用を検討する。

#### 【取組状況】

- ・武道室等運動施設については、御滝中学校の部活動による活用にあたり、令和3年度に試行し、課題整理を行う。
- ・跡地利活用については、一時避難所機能の維持等、協議をしていく。

#### 【統合に向けた方針 その2】

「(仮)金杉台中学校統合準備会」を設置し、統合に向けた諸課題を整理する。

#### 【取組状況】

- ・令和2年度に名称を「金杉台中学校・御滝中学校統合準備会」として設置し、学校及びPTAの意見を聞きながら、統合までの間の入学に関する入学等対応策を整理した。

#### 【統合に向けた方針 その3】

統合の時期は、令和5年4月とする。(3年後)

#### 【取組状況】

- ・統合に向けた諸課題の進行管理を行い、統合時に金杉台中学校から御滝中学校に引き継ぐ文書や備品等の対応など準備を開始した。

# 金杉台中学校の統合に向けた検討状況報告について

## 1. 「進学先に関するアンケート」集計結果（令和3年5月実施）

- ・金杉台中学校の指定学区及び選択地域の小学校6年生の対象者166人に対し、児童154人から回答があり、回答率は93%であった。

### (1) 進学先の中学校について（アンケート冊子5ページ）

(N= 154)

| 進学先                         | 男女別 |    | 性別<br>未回答 | 回答数計 | %    |
|-----------------------------|-----|----|-----------|------|------|
|                             | 男   | 女  |           |      |      |
| 金杉台中学校                      | 2   | 0  | 1         | 3    | 2%   |
| 御滝中学校                       | 71  | 54 | 1         | 126  | 82%  |
| 旭中学校                        | 4   | 5  | 0         | 9    | 6%   |
| 上記以外の中学校<br>(市内中学校や私立中学校など) | 4   | 2  | 1         | 7    | 5%   |
| わからない、検討中、<br>これから考える       | 7   | 1  | 0         | 8    | 5%   |
| その他                         | 0   | 1  | 0         | 1    | 1%   |
| (未回答)                       | 0   | 0  | 0         | 0    | 0%   |
| 計                           | 88  | 63 | 3         | 154  | 100% |

- ・金杉台中学校へ進学を希望している人数は、男子2人、性別未回答1人の合計3人であった。「わからない、検討中」を選んだ人数は8人であった。
- ※昨年度、5年生時点では、金杉台中学校へ進学を希望している人数は7人。

### (2) 上記の進学先を選んだ理由について（アンケート冊子12ページ）

(N= 154)

|   | 回答数 | %   |
|---|-----|-----|
| 統合にかかわらず、以前から希望していた中学校に進学するため                         | 107 | 69% |
| 統合時に転校したくないため   | 25  | 16% |
| 統合に不安があり、進学する中学校を決めかねているため                            | 4   | 3%  |
| 金杉台中学校・御滝中学校・旭中学校以外の市内の中学校を希望しているため<br>※希望する中学校名、その理由 | 4   | 3%  |
| その他 ※自由記述   | 7   | 5%  |
| (未回答)   | 7   | 5%  |

- ・「以前から希望していた」、または「転校したくない」という理由を選んだ人数が多い。一方で、「進学する中学校を決めかねている」を選んだ人数は4人であった。

### **(3) 自由記述の意見** (アンケート冊子14ページ)

- ・統合によって更に生徒数が増え、先生の目が行き届かなくなるのではないかと不安
- ・新型コロナウイルス感染症の問題がある中、生徒数・学級数の多い御滝中学校で子供の命の安全が守れるか不安
- ・金杉台中学校に進学希望でも、途中から御滝中学校に転校となり、馴染めるか心配
- ・統合が決まっているのになぜアンケートをとるのか

## **2. 第4回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会の開催結果**

### **(1) 開催日時・場所**

令和3年6月11日(金) 10時00分～11時05分  
金杉台中学校 視聴覚室

### **(2) 出席者** (統合準備会会員19人中18人、事務局5人)

金杉台中学校・御滝中学校・金杉台小学校(校長・教務主任・PTA)  
教育総務課長、施設課長、学務課長、指導課長、保健体育課長、  
総合教育センター所長、総合教育センター教育支援室長

### **(3) 内容**

#### **① 進学先に関するアンケートの集計結果について**

上記アンケートの集計結果の説明。自由記述の意見については、以下のとおり、これまでに学校や関係各課にて統合への不安等への対応していることを確認。

#### **(自由記述に対し、関係各課で検討及び昨年度までに学校と確認したこと)**

- ・担任の先生だけでなく学校全体で見守り体制をつくれること、多くの教師がより多くの目で生徒一人一人を見て支援していくこと。
- ・船橋市保健所や感染症専門の方からの助言を得て、「新型コロナウイルス感染症学校生活における感染症対策マニュアル」を策定し、必要に応じて改訂を加えながら、各学校で児童生徒の感染予防対策に努めていること。
- ・様々な不安を解消できるように学習面・生活面等において全力でサポートしていくこと。
- ・アンケートをもとに、統合までの間、金杉台中学校へ入学し、統合時に御滝中学校に移ることになる生徒が学校生活をスムーズに送れるよう、その対応や準備を行うこと。

#### **(今後の対応)**

- ・本アンケートの結果を対象者に送付し、各家庭での進学先の検討の際の参考としていただく。
- ・10月に実施する意向調査等により、入学希望者数を再度把握。

## ②今年度の統合準備会での検討事項について

アンケートの結果をふまえ、令和4年度の金杉台中学校の入学希望に対応し、学校間で調整すべき事項について説明し進めていくことを確認。また、教育委員会事務局にて進める統合に向けた進行管理を説明。令和3・4年度に取り組む検討事項をスケジュールとして説明。

## ③質疑・意見等について

アンケートや検討事項についての質疑・意見等は以下のとおり。御滝中学校と金杉台中学校、また関係各課と各学校とで課題に対応していくことを確認。

### (金杉台中学校PTA)

- 正式に統合が決まるという条例改正の進捗状況は。  
⇒統合となる令和5年4月までの間に、市議会に条例改正案の議決を得ていく。  
まだ議会に議案の提出はしていない。 【教育総務課長】
- 平成29年度からの金杉台中学校の検討の際、説明会で紛糾したときの求めに応じて、会議録が出た経緯があったので、こういった会議の会議録は全て出すべき。  
⇒統合準備会は統合に向けた話し合いという位置づけで非公開としていた。概要ではなく、一語一句ということならば、持ち帰り検討する。 【教育総務課長】
- これまでの経緯で、単学級が続くことは教育環境として好ましくないという統合の根拠の説明などに不信感ができてしまっているので、アンケートを取る意味がないという感情が多くなると感じた。

### (金杉台中教務主任)

- 統合後の金杉台中学校の跡地活用に向け、御滝中学校の部活動による運動施設の試行・課題整理の取組はいつ頃からか。  
⇒デリケートなこともあるので、両校の校長が話し合い、両校の学校の状況を確認しながら進めていきたい。  
【保健体育課長・御滝中学校校長・金杉台中学校校長】
- 閉校後の学校の状態がどうなるか見えず、昨年度から整理分類を始めてはいるが、細かな備品など扱いや処理はどうしていけばよいか。  
⇒学校生活を当然優先させ、整理を進め、多岐にわたる備品の移転にあたっては、各課を総括する中でチェックリストを一緒に作り調整していく。  
【教育総務課長】
- 教育課程の調整は、漏れのないように進めたいが、必要なことなどチェックリストのようなものは示してもらえるか。  
⇒年間指導計画などは事前に共有し、進めていく中で問題も出てくるので、適宜両校の先生方の綿密な連携が必要。両校でお互いに共有し、連絡を取りながら連携していきたい。 【指導課長・御滝中学校校長・金杉台中学校校長】

**(御滝中学校校長)**

- 御滝中学校では生徒が多いので目が届かないのではという不安を解消できるように、多い人数であっても生徒一人一人をよく見て大切することを全教職員で共通理解し指導している。更に、多くの先生方のいろいろな視点から子供たちを捉え指導・支援し、教育活動を進めている。
- 新学習指導要領に沿って、生徒が自分の考えをもって、話し合い、多様な考え方や解き方を学ぶ活動を多く取り入れるなど、これまで以上に学習活動の工夫をしている。
- 部活動などで活動を共にする機会があれば、生徒同士の交流を図るだけでなく、熱心に活動する様子が金杉台中学校の生徒にとって刺激になることも考えられる。子供の様子や関わり合いなどの実態にあわせた活動や交流をしていきたい。

**(金杉台中学校校長)**

- 部活動については、両校の子供たちの気持ちを第一に、どうやったらやっていけるか両校で話し合っている。子供たちに聞き取り、様子を見ながら検討を続ける。
- 大人数にも馴染めるよう、母数としては少ないけれど、学年合同での活動を今も行っている。来年の入学に向けて、御滝中学校とも何らかの連携を図っていきたい。また一人一人に不安などないか、カウンセリング等にも努めていく。
- 子供たちには愛着と誇りをもって、金杉台中学校で良かったと言ってもらえるように、職員一丸となって学校運営を進めていくので、皆様にもお力添えいただきたい。

**(4) 次回の開催予定**

第5回統合準備会は、令和3年11月頃開催予定

## 令和3年度の統合準備会の検討事項について(統合準備会資料)

### 1. 各学校、学校間での検討・調整事項

統合準備会は、統合までの間(令和3・4年度)に金杉台中学校に入学する生徒に係る諸課題について、検討・調整を行い、スムーズな統合を目指すことを目的としています。

5月に小学校6年生を対象に実施しました進学先に関するアンケートの結果では、令和4年度、金杉台中学校に進学したい方が3人、進学先は検討中の方が8人、そのうち統合に不安があり決めかねている方が3人でした。統合準備会としては、以下のとおり、検討・調整事項に取り組み、次年度の入学に向けて準備を進めることといたします。

#### ①教育課程(学習面・交流事業など)

- (1)教育課程、教科等の年間指導計画、副教材の共通化等により、令和5年度の統合時に令和4年度金杉台中学校の入学者が学習面において支障のないように対応します。
- (2)令和4年度金杉台中学校と御滝中学校の入学者が交流できるよう、学校行事等の中で実施可能な交流事業の検討・準備を進めておきます。

#### ②部活動

- (1)令和3年度金杉台中学校の入学した生徒が0人であったため、今年度は交流を目的とした部活動の合同実施は計画しておりませんが、両校で調整の上、可能な部活動については、合同練習など実施してまいります。
- (2)令和4年度金杉台中学校と御滝中学校の入学者が交流できるよう、部活動の合同実施の準備を進めることといたします。
- (3)統合後の金杉台中学校の運動施設(体育館、運動場、武道室)を土日及び長期休業中などに、御滝中学校の部活動で使用することを教育委員会と御滝中学校で検討しています。今年度はその試行と課題整理をします。なお、統合後の跡地活用方法によっては、実現できない場合もあります。

#### ③その他諸課題

- (1)PTA 組織は両校のPTA 間で調整をお願いします。
- (2)保護者が負担する学校費等は学校間で調整をお願いします。
- (3)学校評議員は学校間で調整をお願いします。

### 2. 統合に向けた進行管理

金杉台中学校及び御滝中学校の協力を得ながら、統合に向けた諸課題の進行管理を教育委員会にて進めます。原則として直接関係者間で必要な検討・調整を進めますが、統合準備会において調整・検討すべき事項や情報共有すべき事項が生じた場合には会議を開催することといたします。

#### (主な諸課題)

- ・金杉台中学校の生徒数・学級数の減少にともなう課題等へ対応
- ・御滝中学校の生徒数・学級数の増加にともなう施設整備等への対応
- ・統合時に金杉台中学校から御滝中学校に引き継ぐ文書や備品等の対応
- ・統合の影響を受ける生徒や保護者への相談等の支援 等



# 船橋市立金杉台中学校・御滝中学校 統合準備会たより

第5号 令和3年7月発行

船橋市立金杉台中学校・御滝中学校  
統合準備会事務局（教育総務課）

金杉台中学校の御滝中学校との統合に向け、「船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会」を設置し、準備を開始しています。昨年度から引き続き、4回目の統合準備会を行いました。

## 第4回統合準備会を開催しました



6月11日（金）午前10時から、金杉台中学校の視聴覚室で開催しました。

事務局である教育総務課から、5月に行いました「進学先に関するアンケート」の集計結果について説明しました。

また、アンケートの結果をふまえ、今年度の統合準備会の検討事項を確認しました。

## 進学先に関するアンケートについて

令和4年度に中学校入学を迎える現小学校6年生の保護者を対象に、①現時点での進学先、②その進学先を選んだ理由、③統合への不安等、をお聞きするアンケートを5月に実施し、対象者166人のうち154人から回答（回答率93%）がありました。

アンケートの対象の皆様、ご協力ありがとうございました。アンケートの集計結果報告は、こちらからご覧ください。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/rika/ku/002/p093985.htm>



<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/rika/ku/002/p093985.htm>

### ①現時点での進学先

・「金杉台中学校」の人数は3人、「わからない・検討中」の人数は8人でした。

### ②進学先を選んだ理由

・「以前から希望していた」または「転校したくない」の人数は132人でしたが、一方で、「統合に不安があり、進学する中学校を決めかねている」の人数は4人でした。

### ③統合への不安等について（自由記述）



統合によって更に生徒数が増え、先生の目が行き届かなくなるのではないかと不安

金杉台中学校に進学希望でも、途中から御滝中学校に転校となり、なじめるか心配

新型コロナウイルス感染症の問題がある中、生徒数・学級数の多い御滝中学校で子供の命の安全が守れるか不安

統合が決まっているのになぜアンケートをとるのか

統合への不安等を軽減するための取組を、教育委員会で検討し学校にも確認しています

●先生が多いので、担任だけでなく学校全体で見守り、多くの視点で子供たちに関わっていきます

●様々な不安を解消できるように学習面・生活面等において全力でサポートします

●市保健所や感染症専門家の助言を得て定めた「学校生活における感染症対策マニュアル」を必要に応じて改訂を加えながら、感染予防対策に今後とも努めます

●アンケートをふまえ、学校生活をスムーズに送れるように、その対応や準備を行います

## 今年度の統合準備会での検討事項について

令和4年度に両校へ入学する生徒の対応として、学習面、交流、部活動などの課題の検討や調整を進めることを確認しました。学校間で連携するとともに、統合準備会で、情報共有しながら対応いたします。

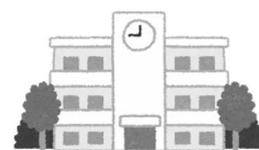
また、教育委員会では、統合時に金杉台中学校から御滝中学校に引き継ぐ文書や備品等の対応など統合に向けた進行管理を両校の協力を得ながら進めます。



### 主な質疑・意見等

質疑に対して教育委員会、金杉台中学校と御滝中学校校長が応答しました。

- ・統合が正式に決まる条例改正の進捗状況は？ ⇒ 令和5年の統合までの間に議会に諮ります。
- ・統合準備会の会議録は全て出すべき。 ⇒ 持ち帰り検討します。(※)  
(金杉台中学校 PTA)
- ・統合後に向けた部活動の課題整理は？ ⇒ 両校で話し合い、学校の状況を確認しながら進めます。
- ・学校の備品などの扱いや処理は？ ⇒ 学校生活を優先しつつ整理を進め、移転するものなどを調整します。
- ・教育課程など学習面の調整は？ ⇒ 両校の先生方で連携を取りながら調整を進めていきます。  
(金杉台中学校教務主任)
- ・大人数にも馴染めるよう、母数としては少ないけれど、学年合同での活動を今後も行っていく。また一人一人に不安などないか、カウンセリング等にも努めていく。子供たちには愛着と誇りをもって、金杉台中学校で良かったと言ってもらえるように、職員一丸となって学校運営を進めていく。(金杉台中学校校長)
- ・不安を解消できるように、多い人数であっても生徒一人一人をよく見て大切にすることを全教職員で共通理解し指導している。新学習指導要領に沿って、生徒が自分の考えをもって、話し合い、多様な考え方や解き方を学ぶ活動を多く取り入れるなど、これまで以上に学習活動の工夫をしている。(御滝中学校校長)
- ・統合に向けて様々な課題が出てくると思うが、両校の子供たちの気持ちを第一に、両校で連携を図っていきたい。(金杉台中学校、御滝中学校の校長)



(※) 統合準備会の会議録についてご意見を受け検討した結果、公表することとしました。準備が整い次第、ホームページに掲載いたします。

◎ 統合や中学校入学について、不明な点は下記事務局までお問い合わせください。

◎ 次回の統合準備会は11月頃を予定しています。今後も統合準備会の開催に合わせて、この「統合準備会たより」を発行してまいります。

◎ これまでの経過、統合準備会たよりのバックナンバーは

市ホームページにまとめています。あわせてご覧ください。

「金杉台中学校に関する学校規模・学校配置の適正化の検討状況」⇒⇒⇒

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/keikaku/002/p065270.html>



< 統合準備会事務局 > 船橋市教育委員会 管理部教育総務課 企画係

電話：047-436-2802 ※土日祝日を除く9時から17時まで

FAX：047-436-2808 メール：kyosomu@city.funabashi.lg.jp